

# 「災害時の備え」 電子看板で啓発

エネジンと杏林堂

LPガス販売のエネジン（浜松市中央区）と杏林堂（同）は、薬局店頭のデジタルサイネージ（電子看板）で災害時の停電に備える取り組みの紹介を始めた。

家庭にLPガス発電機を備えておけば、停電しても家電製品を使用できることなどを説明。市内20店舗で映像を流している。

エネジンと杏林堂は2019年に防災活動パートナー協定を結び、杏林堂店舗で炊き出しなどの訓練を実施。今回は8月に発表された南海トラフ地震臨時情報を機に企画した。

エネジンの担当者は「大規模災害が発生し、混乱でさまざまな商品が品切れになる前に、家庭の備えを確認してほしい」と話す。

（成田はな）



杏林堂店舗に設置され、停電時への備えを呼びかけるデジタルサイネージ＝浜松市中央区で